

# 商工振興ビジョン後半期ロードマップに係る中間評価（素案）について

商工振興ビジョン後半期ロードマップ主要な5つの柱（KPI）と具体的施策									
主要な5つの柱	KPIの達成状況	中間評価（素案）	会議における意見等	中間評価（取りまとめ）	具体的施策	主な事業		実施年度	進捗状況
						区分	事業名		
1 ・ 中 小 企 業 ・ 小 規 模 事 業 者 の 経 営 基 盤 強 化	<p>【目的】 地域の雇用を支える中小企業・小規模事業者への創業支援、事業機会の拡大や持続的な発展のため</p> <p>○市内事業所総売上額 ①9,597億円（H28） ↓ ②現時点で統計上の実績値が把握できないもの ↓ ③9,597億円(R6)</p> <p>※経済センサ調査結果の数値</p> <p>○創業者数 ①59件（H28～H30延べ） ↓ ②60件（R2～R3延べ） ↓ ③124件（R2～R5延べ）</p> <p>※創業支援等事業計画の数値</p>	<p>KPIのうち創業者数は令和3年度において概ね達成している状況であり、事業の進捗状況についても、概ね実施できている。</p> <p>引き続き市内事業者の事業継続と経営安定、市内での創業ははじめとしたスタートアップへの支援の取り組み継続していくとともに、コロナ禍や原油価格・物価高騰などにより厳しい状況にある事業者への支援も検討する必要がある。</p> <p>一方で、助成制度等について、計画と比して実績件数が少ない事業もあり、事業者からは手続き簡略化や情報提供も多く求めているという結果であることから、多くの事業者に活用いただけるよう、わかりやすい申請手順の整備や支援策の伝達方法の工夫、支援機関をはじめとした関係機関との連携が必要である。</p> <p>【事業進捗状況（R3年度末）】 12事業/14事業：85.7%</p> <p>【助成制度等実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>信用保証料助成制度 R2：実績8件/目標9件 R3：実績8件/目標9件</li> <li>小規模事業者持続化補助金（一般型） R2：実績7件/目標28件 R3：実績19件/目標27件</li> </ul>	<p>主要な5つの柱における後半期の施策22項目と37事業について、KPIの整理と各目的の達成に向けた、事業の有効性や効果について、中小企業振興会議において意見をいただき、中間評価の検討・取りまとめを行う。</p>		1 「栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブック」	継続	■ 「栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブック」の作成配布	3～5	実施
					2 中小企業・小規模事業者のニーズに適した情報の発信	継続	■ 支援制度等の情報整理・発信	2～6	実施
						新規	■ メルマガ制度の創設	3～6	実施
					3 関係機関との連携によるサポート体制と相談体制による支援	継続	■ サポート体制の継続	2～6	実施
						継続	■ りっとう経営なんでも相談会の実施	2～6	実施
					4 産学官連携に向けた機会の創出	継続	■ 産学官の連携	4～5	未実施
						継続	■ 滋賀県工業技術総合センターの利用促進と有効活用	4～5	未実施
					5 事業継続強化支援計画の推進	新規	■ 事業継続力強化支援計画の推進	2～6	実施
					6 経営基盤の強化と資金の支援	継続	■ 信用保証料助成制度	2～6	実施
	継続	■ 国持続化補助金の市単独上乗せ	2～6	実施					
7 創業活動への支援	継続	■ りっとう創業塾の実施	2～6	実施					
	継続	■ 創業支援融資利子補給金制度の継続	2～6	実施					
8 創業支援等事業計画の推進	継続	■ 栗東市創業支援等事業計画の推進	2～6	実施					
9 経営発達支援計画の作成・推進	新規	■ 経営発達支援計画の作成・推進	3～6	実施					
2 ・ 消 費 者 ニ ー ズ の 創 出	<p>【目的】 消費者のニーズとのマッチングによる地域内での経済の好循環を生み出すため</p> <p>○市民の市内購買率 ①35.7%（R1） ↓ ②46.7%（R4） ↓ ③35.7%（R6）</p> <p>※市民アンケート調査結果の数値</p>	<p>KPIについて、大きく上回る状況であるが、長らくコロナ禍において進捗が未実施となっている事業も多い。</p> <p>今後も、消費ニーズ創出のための事業は継続して実施していくべきであるが、情報発信や情報共有を重点化することで効果が高まることから、コロナ禍を受けた市民の消費行動や意識の変化を踏まえて、市民や事業者の意見を聞きながら、連携して進めていく必要がある。</p> <p>また、域内調達拡大については、企業、事業者、市民、行政それぞれが協働により取り組むものとしているが、課題を解決するために時間を要することから、長期的な視点で進めていく必要がある。</p> <p>【事業進捗状況（R3年度末）】 2事業/7事業：28.6%</p>			10 市の全調達に占める調達比率の引上げ	継続	■ 市の全調達に占める調達比率の引上げ	2～6	実施
					11 域内調達拡大運動	継続	■ 域内調達拡大運動に関する周知	2～6	実施
						新規	■ 地域経済の循環率を高める施策等の検討実施	4～6	未実施
						新規	■ 地元事業者活用促進策の検討	4～6	未実施
					12 市民が買物をしやすい環境整備の検討	新規	■ 市民が安心して購買・利用できるための情報発信支援事業	4～6	未実施
					13 魅力ある個店づくりへの情報発信支援	新規	■ 個店の魅力情報発信支援	4～6	未実施
14 農商工連携による市内産品の販売促進	新規	■ 市内小売業者への働きかけ	4～6	未実施					

商工振興ビジョン後半期ロードマップ主要な5つの柱（KPI）と具体的施策

主要な5つの柱	KPIの達成状況	中間評価（素案）	会議における意見等	中間評価（取りまとめ）	具体的施策	区分	主な事業	実施年度	進捗状況
							事業名		
3 ・ まちの賑わい創出	○空きテナント数 ◆栗東駅周辺 ①31件(R1) ↓ ② <b>27件 (R4)</b> ↓ ③26件(R6) ◆手原・安養寺周辺 ①73件(R1) ↓ ② <b>70件 (R4)</b> ↓ ③62件(R6) ※空きテナント実態調査結果の数値	KPIについて、一部下回っている状況であり事業の進捗も概ね実施できている。 また、対象業種の拡大により空き店舗等補助金の件数も概ね予定通りの進捗が図れている。 今後も引き続き支援策を実施していくとともに、他の創業者向け市支援策と併せて新規出店者に制度の利用をしてもらえるよう関係者等を通じた制度周知が必要である。 【事業進捗状況（R3年度末）】 3事業/4事業：75% 【空き店舗等活用促進事業補助金】 R2：実績8件/目標9件 R3：実績8件/目標9件	主要な5つの柱における後半期の施策22項目と37事業について、KPIの整理と各目的の達成に向けた、事業の有効性や効果について、中小企業振興会議において意見をいただき、中間評価の検討・取りまとめを行う。		15 個店の魅力向上	継続	■ りっとうバル・まちゼミ事業	2~6	実施
							■ 商店街等の活性化	2~6	実施
						継続	16 空き店舗等対策の拡充	■ 空き店舗等活用促進事業補助金制度	2~6
■ 空き店舗のデータベース化と情報提供	4~6	未実施							
4 ・ 人材確保と生産性向上	【目的】 市街地のにぎわい創出とまちの活力を高めるため ○就業者数 ①31,844人(H28) ↓ ② <b>33,944人 (R3)</b> ↓ ③31,844人(R6) ※経済センサ調査結果の数値 【目的】 中小企業・小規模事業者の新たな働き手の確保と労働生産性及び付加価値の向上のため	KPIについて、大きく上回る状況となっており、進捗状況も半数の事業を実施となっている。 今後は、引き続き人材確保と生産性の向上に向けて取り組みを進めていくが、人材の確保ができないという事業者のニーズに合った支援策を検討していく必要がある。 また、事業承継の支援については、市内では若い年代の経営者が多いことから、全国と比較して必要性は低いという状況であるが、いずれ来る事業承継に向けて長期的な視点で国の動向や社会情勢を踏まえて検討していく必要がある。 【事業進捗状況（R3年度末）】 4事業/8事業：50% 【経営者の年代（平均）】 栗東市 51.8歳（R4事業者アンケート調査） 全 国 61.5歳（2021年企業信用調査機関調査）			17 市内企業の人材確保支援	継続	■ 市内企業の魅力情報発信	2~4	実施
							18 中小企業・小規模事業者の生産性向上	継続	■ 中小企業者等の先端設備投資への支援の継続
					新規	■ キャッシュレス決済端末導入への支援		4~5	未実施
						新規	19 関係機関との連携によるサポート体制と相談体制の構築	■ サポート体制の構築	2~6
					■ 事業承継相談会の開催			2~6	実施
					新規	20 事業承継への新たな支援制度の検討	■ 事業承継融資信用保証料助成制度	4~6	未実施
■ 事業承継融資利子補給制度	4~6	未実施							
■ 国事業承継補助金の市単独上乗せ	4~6	未実施							
5 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う中小企業等の経営安定化と地域経済の活性化	【目的】 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業・小規模事業者への支援のため ○市内事業所立地数 ①2,838件(H28) ↓ ② <b>2,774件 (R3)</b> ↓ ③2,838件(R6) ※経済センサ調査結果の数値	KPIは現時点で下回っており、国や県、市独自の緊急施策を実施してきたが、長引くコロナ禍により市内事業者へ大きな影響を与えている結果となっている。 今後も、アフターコロナを見据えて、国や県等の動向、社会経済情勢を踏まえて、引き続き、市内事業者の経営安定と継続のための支援策に取り組んでいく必要がある。 プレミアム付商品券事業については、コロナ禍において、過年度実施における参加店舗と比較して大きく増加しており、市内経済の活性化が図られていることから、その効果等を十分検証した上で、国や県施策の動向を踏まえて今後の実施について検討していく必要がある。 【事業進捗状況（R3年度末）】 4事業/4事業：100% 【プレミアム付商品券取扱店舗】 H31 163店 R3 316店			21 中小企業・小規模事業者の経営の継続と安定化への支援	新規	■ 栗東市セーフティネット資金利子補給金制度	2~4	実施
							■ 国持続化補助金(コロナ特別対応型)の市単独上乗せ	2~4	実施
							■ 国・県等補助施策への市独自上乗せ	3~6	実施
					新規	22 地域経済の再活性化に向けたさらなる支援	■ 市内消費喚起促進への支援	2~4	実施